

研究課題名「術前治療後に切除した膵癌における病理学的奏功の予測因子と予後因子に関する観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象 2008年1月1日～2018年12月31日までに当院で膵切除術を受けられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

膵癌の根治的治療は切除による完全切除が必要不可欠である。しかしながら、膵癌は初診時に15から20%しか手術可能と診断されず、手術後も高率に再発・転移を起こす。よって、膵癌に対する切除可能性を広げるため、また、術後再発転移を制御するための術前治療が注目されている。本研究では当院で術前治療後に切除された膵癌の病理学的奏功を予測する因子を明らかにするとともに予後因子についても検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、膵疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、腹部CT画像等

試料：なし

4. お問い合わせ先本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学  
TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744-2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・園原史訓

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・講師・山田 豪

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘